

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		生涯学習課	安田一司	宮田真里衣
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
保健体育一般事業		新規	年度	年度
		○継続	○ H20以前	未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯スポーツの充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
少年スポーツクラブ連絡協議会補助金交付要綱		○ ソフト事業	施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
・少年少女へのスポーツ活動の場を提供し、スポーツを通じて心身を鍛錬する団体の育成を図る。又、社会体育団体として登録した団体に対して支援する。		補助金の支給	○ 有	無
		委託	全部委託	一部委託
		○ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
町民	町民	登録団体に支援する。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名	一般	会計		
細目名 保健体育一般事業					細目名					細目名				
予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業
	10	7	1	1										

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算(見込)	21年度 予定(当初)	22 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			4,940	16,381	17,075	
コスト の内訳	直接事業費	千円	612	7,705	7,534	
	所属内間接費					
	人件費		4,328	8,676	9,541	
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.60	1.35	
財源 内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,940	16,381	17,075	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 予定	22 年度 目標
1	少年スポーツ連絡協議会	競技会・連絡会の開催 による。	協議会の開催	回	10	5	5
2	社会体育団体		登録数	団体	25	40	40
3							
4							
5							

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [保健体育一般事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度実績	21年度予定	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
少年少女スポーツ連絡協議会	回	5	5	5	連絡会の開催
社会体育団体		100	100	100	社会体育団体の登録の強化

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い		高くない		把握なし		
		緊急性は		高い	○ 高くない				
		利用者・対象者数は	○ 増加		減少		横ばい		
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	○ ない		ある		把握なし		
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない		ある				
		国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない		ある				
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある		把握なし		
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない		ある				
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない		ある		あるが困難		
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない		ある		あるが困難		
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○ ある		あるが困難		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○ ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		受益者負担を見直す余地は		ない	○ ある				
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある		ない				
		前年より成果が上がって		いる		いない	○ 横ばい		
	持続の 可能性	継続することによる効果は		高い	○ 高くない				
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		いる	○ いない		測定困難		
		事業の休・廃止による住民への影響は		大きい	○ 大きくない				
市場化の 可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○ 委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性			1.改善の余地はない			2.改善の余地がややある			
			3.改善の余地が多い			○ 4.抜本的な見直しが必要			

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 保健体育一般事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) ・県加入のスポーツ少年団があり、今後の多可町の少年少女スポーツクラブ組織づくりを検討しなければならない。(当初) ・多くのグループが登録しているが、より一層登録を増やし、生涯スポーツの活性化を図らなければならない。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ・スポーツ少年団、スポーツクラブの組織の一本化を図る。 ・多くのグループが登録しているが、利用料減免等について検討する必要がある。 22集中改革プランでも設定されているが、補助金の減額や利用料の適正な方向を検討しなければならない。									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 多可町スポーツ振興基本計画及び多可町生涯スポーツ振興行動プログラムにそって、常に内容を見直しながら組織の活性化を図っていく。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
現状を維持しつつ、さらなる事業改革を図られたい。									